信濃町議会だより

No. 192
令和7年10月31日号

ふるさとの古間鎌の伝統を守る

第424回定例会　7～9月会議

9月会議概要……1～6
一般質問……7～12
全員協議会……13
委員会活動あれこれ……13
ぎかい活動365日……14
わたしの出番・編集後記……15

発行／信濃町議会　発行責任者／酒井　聡
編集／議会広報調査特別委員会
〒389-1392 長野県上水内郡信濃町柏原428-2
TEL(026)255-2212
印刷／(社福) ながのコロニー長野福祉工場

令和６年度一般会計 決算認定

歳入64億1,092万円 歳出61億5,408万円

経常収支比率が84.3%（1.6%改善）

第424回7月・9月会議概要

9月会議が9月8日から9月29日までの22日間の日程で開催されました。

9月会議では決算の認定関係が8件、条例関係が3件、令和7年度補正予算関係が一般会計を含め9件、人事関係3件、契約関係が1件、その他2件を合わせて26件が審議されました。

また、7月会議では条例改正案1件、会計補正予算案1件、工事契約締結事項変更案件1件など、町長提出案件5件が審議され全て可決されました。

ほかに陳情案件2件と請願6件が審議されました。

なお、9月会議に行われた一般質問は、11名が質問に立ち町政を質しました。

決算特別委員会

小委員会審査（主なもの）

総務産業小委員会

会計管理費

Q オンラインでの振込と窓口振込は、どのくらいの比率ですか。

A 振込に関してのみということであれば、ほぼ100パーセント電子決済です。

徴税費

Q 信濃町の徴収率は、同規模の市町村と比較するとどのような傾向なのでしょうか。

A 10年ほど前は県内でワースト5位に入っていたような状況でしたが、昨年の97パーセントという徴収率で見ると、全県の中で真ん中くらいの位置になっています。

農林水産業費

Q 牧場維持管理費について、前年度比で170万円の増となっている中で、牛乳販売等の収益にどのように繋がっているのか伺います。

A 酪農家から牛を預かり人工受精を行い、酪農家へ戻すという事業ですので、こちらの町営牧場で搾乳をしたりと畜をしたりすることによる収入等は発生しておりません。

総務費

Q 地区集会施設改修等事業補助金について、上限が決まっていると思います。これも順番待ちのようなことはありますか。

A 施設改修の補助金です。令和6年度につきましては200万円の予算の範囲内で、6地区、191万2,000円という内訳です。順番待ちということではないです。

消防費

Q 業務量からすると、団長と副団長の報酬は低いと感じますが、いかがでしょうか。

A 他の市町村と比較しながら、今後検討したいと思います。

地域を守る消防団

商工観光費

Q 姉妹都市等交流活性化事業についてですが、どこに委託しているのか伺います。

A 信濃町振興局に委託しています。

社会文教小委員会

民生費

Q 育成会の数が減ってきている現状を踏まえてどのような対応をしていますか。

A 徐々に統廃合が進んできていることは認識しています。ただ、令和5・6年度については、減ってきているということは感じていません。統廃合したことによって、育成会が維持できていると思っています。今後、少子化によって子どもがいない地域が出てくると、育成会がなくなる可能性があります。統廃合によって育成会の活動は維持できているので、育成会の活動費の支援ということで補助ができればと思っています。

Q 令和5年度から6年度で保育士はどの程度増えましたか。

A 保育士全体では1人増となっています。令和5年度は特別支援が必要な園児が複数人おり加配となっていましたが、年度末で卒園となったことから、その人員も含めて野尻保育園の再開が可能となっています。

Q 令和6年度から、おむつごみを持ち帰らず、園で処理するためのゴミ箱が設置されました。保育士が可燃ごみとして処理する負担とすれば、大きな負担はないという認識でいいですか。

A そのとおりです。保護者からは好評をいただいています。

教育費

Q 国民スポーツ大会のどのような事務を令和6年度にしてきたのですか。

A 国民スポーツ大会に関しては、今年の7月に長野県で開催されることが正式決定されました。信濃町ではオープンウォータースイミング（OWS）を野尻湖で開催することになりますが、その準備を令和6年度は進めてきました。具体的には、開催会場の確認、OWSのコース設計、漁協を中心とした町民の方に対しての打ち合わせ等を行い、地域の方に理解をしていただくようなことをしました。また、県との調整をし、費用の概算を出したり、必要な備品を出すといった仕事を進めてきました。人員については、一般の会計年度任用職員に準備事務を、そこに生涯学習係長も併せて2名体制で行ってきました。

民生費

Q 生活困窮者就労準備支援事業費補助金について、説明をお願いします。

A 当町は保健福祉事務所の未設置市町村ということで、社協に委託している事業ですが、一括した生活困窮に関わる窓口という形でお願いしています。年間の相談件数は280件で対前年比36件の増になります。

信濃町低所得世帯貸付基金運用状況調

Q この基金が使いづらいのではないかと思うが。

A 使いづらいという声はありませんが、11か月以内に返済する決まりがある他、連帯保証人が必要になる点で使いづらさがあるかもしれないと、個人的には感じています。

衛生費

Q 環境学習会事業はクリーンラリーに関する事業ですか。

A 決算額124,894円はクリーンラリーの費用です。

「ゴミアート　野尻湖の環境を守りたい」
信濃小中学校６年生が５年時のクリーンラリーを
きっかけに野尻湖の環境保護活動に取り組んでいます。
（野尻湖ナウマンゾウ博物館にて展示中）

賛成討論

峯村　崇議員

令和6年度は、コロナ禍からの停滞を乗り越え、職員の皆様の努力により決算を迎えた年でした。町税収入は増加したものの、高齢化や公共施設の老朽化により厳しい財政運営が続いています。特別会計繰出金は改善傾向にあるものの依存度は高く、経営改善が求められます。ふるさと納税の増加は大きな成果であり、引き続き自主財源の拡充を期待します。不備のあった補助金申請については再発防止策の徹底を望みます。限られた財源の中で観光・産業振興と人材育成に努め、住民のための町政推進をお願いしたいと思います。

決算監査意見

代表監査委員　荒井　英一郎
監査委員　湊　喜一

一般会計

歳入は、前年度と比較して4億4669万円（7.5％）増の64億1092万円となりました。増加の主な要因は、固定資産税、軽自動車税、入湯税等です。

歳出については、前年度と比較して、３億978万円（5.3％）増の61億5,408万円となりました。増加の主な要因は、人件費、扶助費増となっています。これは、国による物価高騰対応への支援の一環として、定額減税調整給付金を実施したことにより増加したものです。

町税増収の要因としては、滞納繰越分を含めた徴収率が97.0％で前年度を0.9ポイント上昇していること。また、コロナ禍からの社会経済活動の回復によることも考えられます。

財政構造の弾力性を表す経常収支比率が令和６年度は84.3％になりました。令和５年度の85.9％と比較し1.6ポイント低下（改善）しましたが、相対的に高い水準にあると認められます。適時的確な対応により事業効果を一層高める措置を講じることが望まれます。

信濃町の令和７年３月末の人口は7,462人で令和11年（2029年）には6,689人と減少するものと予測されています。

関係人口創出・拡大事業では、シビックプライド向上事業として信濃町ガイドブックが作成されています。本ガイドブックは、信濃町の個々の魅力が発信されており、読み手に興味を喚起し、信濃町への訪問意向を促す内容となっており、今後の事業で有効に活用できるツールとしての効果が期待されます。

令和６年度末現在町が保有する町有財産のうち、行政目的に使用されない普通財産が、土地（山林を除く）については252,542㎡、建物については6,555㎡あります。可能な限り売却等の処分が望まれます。行政財産とされている森林においても、下草刈り間伐等の手入れがなされていない所があり、ボランティア等の活用を含む管理体制の強化を検討してください。

令和６年度の一般会計から特別会計及び企業会計への繰出金は、総額12億7741万円で、歳出総額61億5408万円の20.8％を占めています。基準外繰出金は町単独の予算支出であり、町財政の弾力化を失わせる要因の一つとなっていますので、各会計において事業収支の改善等を図り、基準外繰入への依存度を低下させるための経営改善を求めます。

新信越病院融雪道路コンクリート打設前（定期監査現地調査）

ふるさと信濃町応援寄附金は1億3208万円で、前年度対比147.1％の増となりました。増加の要因として、返礼品の種類を増やし、充実した返礼品を考え提供していること、地域おこし協力隊をはじめ、関係職員全員の努力によるものと考えます。今後も信濃町の特産品等を全国に発信し、寄附金が増えることを期待します。

特別・企業会計決算

常任委員会ことに所管する会計を審査し、最終日の本会議で審議されました。すべての特別会計・企業会計決算が、全会一致で認定されました。

特別会計

国民健康保険

歳入　10億2204万円
歳出　10億1780万円

Q　被保険者が年々減ると予想されますが、減少に対して国から特別調整交付金の措置はありますか。
A　現時点ではありません。
Q　被保険者の負担が増えると予想されますが。
A　県へ支払う納付金の算出には影響が出ます。

後期高齢者保険

歳入　1億5293万円
歳出　1億4875万円

Q　特別徴収の現年度分の収納率が１００％を超えていますが。
A　年度中に亡くなった方の過納金が発生し、相続人の振込先届け出がなく、未納となった分です。

介護保険

歳入　10億4898万円
歳出　10億2321万円

Q　住所地特例者とは。
A　町外の施設に入所される方が住所を施設に移された場合、施設所在地の保険者が、介護給付費を負担することになるのを防ぐためです。
Q　高収入者の保険料の段階を増やした影響額は。
A　13段階の内11・12・13段階が増え、６８０万円の増収になり全体の区分の収納も増えました。

古海診療所会計

歳入　467万円
歳出　461万円

Q　県の補助金が減らされた要因は。
A　国からの予算枠が減らされたのが要因と聞いています。

企業会計

病院事業会計

総収益13億4854万円
総費用14億1752万円
純損失　6898万円
繰越欠損金
13億7403万円
一般会計繰入金
4億7214万円

Q　介護病床数が減り、それにかかわる職員の整理はあったのですか。
A　介護病床を廃止したといっても状況的には人員を減らすことはできない状況です。

水道事業会計

総収益1億9892万円
総費用1億8719万円
純利益　1172万円
繰越利益剰余金
5948万円
積立金現在高
1億9247万円

Q　総係費が増えた要因は。
A　水道事業基本計画の策定業務で、財政シミュレーションを4パターン作成し経営戦略に反映し水道事業ビジョンの基礎とします。令和6年度に水道ビジョンを改正しました。
Q　決算を通じて今後は。
A　基本計画を考慮し、配水池の大規模改修、人口減少による収入減少のタイミングで、適正料金の検討が必要と考えています。

下水道事業会計

総収益5億3019万円
総費用4億6376万円
純利益　6643万円
繰越利益剰余金
7725万円
積立金現在高
3702万円
一般会計繰入金
2億2508万円

Q　汚水処理の不足額が去年の2倍になっている要因は。
A　ポンプの故障、処理場機械の故障等の修繕費と動力の増加が要因です。
Q　経費回収率が73・5％来年度以降料金改定の計画がありますか。
A　下水道事業運営審議会に諮問いたしました。

人事の同意

教育委員会の委員の任命について
渡邉　英晴　氏　（柏原・新任）

固定資産評価審査委員会の委員について
北村　浩　氏　（古海・再任）
小川　三冬　氏　（大井・新任）

人事の諮問

人権擁護委員の推薦について
森　美穂子　氏　（野尻・新任）
佐藤　渉　氏　（富濃・新任）

条例改正

条例改正の主なもの

信濃町立信越病院事業の設置等に関する条例の一部改正

今回の改正は、新病院開院に伴い現在の位置から旧柏原小学校跡地に番地を改正するものと、病院の個室の使用料について料金を改正するものです。

※病院の現在地の「柏原380番地」から新病院建設地の「柏原243７番地」に改めるものです。

※８つの病床の個室使用料の改正になります。１部屋シャワー・トイレ・応接セット現在1650円で設定していますが、新病院では特別室を5500円に設定になります。残りの7部屋については、3300円となりました。

９月１日に開院した新病院

補正予算

令和７年度信濃町一般会計補正予算（６号）歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ１億８２２８万円を追加し、歳入歳出予算の総額がそれぞれ66億５５８２万円としました。

病院事業会計繰出金　7181万円
※病院への繰出し

児童福祉経費委託費
調査等業務委託　279万円
※保育環境のあり方についての住民アンケート委託費

令和７年度信濃町一般会計補正予算（６号）
賛成討論
永原　和男　議員

民生費に、保育環境の在り方について問う住民アンケート委託料が、計上されています。担当課は対象者を、無作為に抽出し選定するとしています。子育て世代のみなさんの声を重点的にお聞きすることが大事だと考えます。意見を付して賛成とします。

令和７年度信濃町一般会計補正予算（７号）歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ７６３万円を追加し、歳入歳出予算の総額がそれぞれ66億６３４５万円としました。

堆肥センター施設整備基金　62万円
※ホイルローダーとベルトコンベアの修理

一茶記念館管理費　182万円
※冷暖房システムの修繕

財産の所得

移動式エアコン11台
取得金額　1980万円
保育園に設置

テント式パーテーション
折りたたみ式フレームベット
エアー式簡易ベッド
所得金額　1188万円
災害備蓄用避難所資機材

第424回定例会9月会議　議員・議案ごと賛否一覧表

○賛成●反対／病気・公務出張等により欠席・議決に不参加　{議長は議決に参加しない（－）}

議案番号	議案の内容	審議結果	岡本かおり	峯村崇	小川敬史	佐藤博一	片野良之	伊藤博美	佐藤武雄	永原和男	橋崎一雄	湊喜一	北村富貴夫	酒井聡
請願第５号	「さらなる少人数学級推進と教員増のための教育予算確保」を求める請願書	不採択	○	●	●	●	○	○	●	○	●	●	●	－
請願第６号	「義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充」を求める請願書	採択	○	●	○	●	○	○	●	○	○	○	●	－
請願第７号	地域高校の存続と 30 人規模学級を求める請願	採択	○	○	○	●	○	○	●	○	○	○	○	－
請願第８号	国の教育予算を増やして高校授業料無償化、給付奨学金制度の確立を求める請願	不採択	○	●	●	●	○	○	●	○	●	●	●	－
陳情第６号	国民健康保険財政への国庫負担の増額を求める陳情	採択	○	●	○	●	○	○	●	○	○	○	●	－
発議第９号	義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める意見書	原案可決	○	●	○	●	●	○	○	○	○	○	●	－
発議第10号	地域高校の存続と 30 人規模学級を求める意見書	原案可決	○	○	○	●	○	○	●	○	○	○	○	－
発議第11号	国民健康保険財政への国庫負担の増額を求める意見書	原案可決	○	●	○	●	○	○	●	○	○	○	●	－

※全会一致の案件についてはホームページにてご確認をお願いします。
（賛成・反対同数の場合は議長が決することとなっています。）

信濃町議会　検索

請願　陳情

請願

上水道水質改善に関する請願書
〈請願者〉
落合組　総代　原山　進
〈紹介議員〉　橋崎　一雄
（継続審査）

免税軽油制度の継続を求める請願書
〈請願者〉
タングラムスキーサーカス東急リゾーツ&ステイ株式会社斑尾東急リゾート総括総支配人　上地　古弥
〈紹介議員〉　佐藤　武雄
（採択）

「さらなる少人数学級推進と教員増のための教育予算確保」を求める請願書
〈請願者〉
信濃町立信濃小中学校教職員組合
執行委員長　坂栄　翔平
長野県教職員組合
長水支部　阿藤　仁
〈紹介議員〉　伊藤　博美
賛成討論
伊藤　博美　議員

どの子にもゆきとどいた教育をするため、必要な教育予算を国に求めています。教育基盤定数算出に用いる係数は現在の完全５日制の基準に見直しが必要です。教員不足をなくすには長時間労働の解消が必要です。残業代の支給と教職員を増やすことです。
（不採択）

「義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充」を求める請願書
〈請願者〉
信濃町立信濃小中学校教職員組合
執行委員長　坂栄　翔平
長野県教職員組合
長水支部　阿藤　仁
〈紹介議員〉　片野　良之
賛成討論
片野　良之　議員

国基準と県基準との乖離により、自治体毎に加配の職員数に差ができ、自治体の負担も少なくないものになっています。

未来を担う子ども達の平等な機会を保障する為にも国に押し上げようではありませんか。
（採択）

陳情

地域高校の存続と30人規模学級を求める請願
〈請願者〉
信濃町立信濃小中学校教職員組合
執行委員長　坂栄　翔平
長野県教職員組合
長水支部　阿藤　仁
〈紹介議員〉　永原　和男
（採択）

賛成討論
永原　和男　議員

物価高の影響が、家計に追い打ちをかけています。子育て世代にとって、高校授業料や教育費が大きな負担となっています。教育予算を増やし「高校無償化」を進め、「給付奨学金制度」の確立を願う請願に賛成します。
（不採択）

国の教育予算を増やして高校授業料無償化、給付奨学金制度の確立を求める請願
〈請願者〉
信濃町立信濃小中学校教職員組合
執行委員長　坂栄　翔平
長野県教職員組合
長水支部　阿藤　仁
〈紹介議員〉　永原　和男

免税軽油制度の継続を求める陳情
〈陳情者〉
長野県索道事業者協議会
長野岳北支部
支部長　斉藤　雅広
（採択）

国民健康保険財政への国庫負担の増額を求める陳情
〈陳情者〉
長野医療生活協同組合内
長野地区社会保障推進協議会
会長　菅田　敏夫
賛成討論
片野　良之　議員

低所得者が多く、保険料に事業主負担がない国民健康保険は相当額を国庫で負担する必要があり、これは国民健康保険制度本来の理念です。このような公平・公正な観点からも、格差解消に向かいましょう。
（採択）

橋崎（はしざき） 一雄（かずお） 議員
上下水道事業の運営方針は
町長　持続可能な運営を目指す

質問　下水道未整備地区の対応は。

町長　汚水の処理方法としまして、集合処理と個別処理がありますが、今後、町全体の汚水処理のあり方を見直していきますが、集合処理として整備が行われていない地区においては、個別処理として整備する方向で考えています。

敷設替え進む仁之倉地区

水道施設の運営、整備状況は

質問　水道管の敷設替えが、あまり進んでいない状況ですが、今後の運営方針及び現状は。

町長　安全な水を安定的に供給する基盤づくりを目指します。

建設水道課長　耐震性が低い石綿セメント管を優先的に更新しており、約半分が終了しています。

　全体の耐震化率は20・5％と低い数字になっています。財源の面もあり、状況を見ながら随時更新をしていく予定です。

質問　配水池の状況及び整備の考えは。

建設水道課長　配水池は、町内に24箇所あり、耐用年数を経過した施設もあります。更新した施設もありますが、施設の統廃合も検討しています。

　また、鉄・マンガンを多く含んでいる、富が原配水池は、除去装置の整備を進める計画です。

給水車の使用状況は

質問　給水車に水を取りに来られない高齢者などにはどのような対応をしていますか。

建設水道課長　直接お届けも可能だが、間に合わない場合には数か所に給水コンテナを設置して取りに行きやすい体制を作りたいと考えています。

質問　ハンターへの補助金は。

産業観光課長　町独自の免許取得費用の一部補助を行っています。

岡本（おかもと） かおり 議員
野生鳥獣被害対策についての取り組みは
産業観光課長　電気柵補助金など行っています

AEDの設置・運用状況は

質問　現在町内に設置してあるAEDの数は、公共施設、民間施設いくつありますか。

総務課長　公共施設に25台、民間12施設になっています。

質問　AED講習会については。

総務課長　今年の防災訓練において実施しました。要望があれば対応したいと思います。

一茶200回忌事業の準備の進捗状況は

質問　一茶200回忌事業実行委員会の進捗状況について伺います。

教育長　4月から県の担当部局と協議を進めています。来年県政150周年を迎える為、協力して事業展開を準備しております。9月には地元の関係者をメンバーとする実行委員会を開催しました。今後この実行委員会での検討を踏まえて準備を進めていく所存です。

紐を通して背負える給水袋

北村（きたむら） 富貴夫（ときお） 議員
農業インフラの整備は
町長　極めて重要な課題と認識

質問　小玉用水から滝沢川の整備は。

産業観光課長　県、関係者等と協力しながら定期的かつ計画的な除草、刈払い作業を実施する体制を検討するとともに、浚渫等の工事についても検討してまいりたい。

質問　水土里ビジョンへの対応は。

産業観光課長　県、国の各種支援制度を活用しながら、農業基盤の維持、更新、さらには環境保全や農村の多面的機能発揮につながる事業推進を農業者、住民、関係団体と協働しながら、実現に向けて積極的に対応してまいりたい。

葦が生い茂る小玉用水

上下水道の今後

質問　上水道の配水管が私有地を通っている箇所の今後の町の具体的な対応は。

建設水道課長　民地内の管は約8・5キロメートルほど民地内に入っています。信濃町の配水管は、総延長で271・4キロメートルほどあり、本年度、老朽化した管、また民地の中で事故等が起きやすい場所については、継続して解消をする方針です。

成年後見人制度

質問　成年後見人制度の現状は。

住民福祉課長　信濃町からの相談件数は、令和6年度は13件です。

　数年前から長野市成年後見人制度支援センターと中枢連携で実施していますので、この中枢連携の活用、利用促進をつなげていきたいと考えております。

小川（おがわ） 敬史（たかし） 議員
住環境の整備を
町長　まったなしで解決しなければ

企業誘致について

質問　企業誘致を誘導するための取り組みは。

町長　昨年度は、情報関連産業を中心としたサテライトオフィスの誘致に取り組んでおり、都市部に拠点を置きます起業との接点づくりに努めています。

信濃町の未来を見据えた政策実現と計画推進について

質問　将来的な人口推計や年齢構成の変化、労働人口、生産年齢人口の推移について伺います。

総務課長　町の人口は、2045年には、4382人と予測しています。65歳以上の老年人口は、2020年で44・2％ですが、2045年には、56・9％、人口の過半数を超えると見込んでいます。

質問　人口減少が進むと財源の縮小に伴い町としてどのような行政サービスの低下が生じるのか伺います。

総務課長　公共施設の更新や維持管理の負担増、公共サービスや移動手段のあり方、医療、介護、福祉分野における費用の増加や人材不足の課題、上下水道のインフラの更新の課題や負担などが考えられます。

質問　リゾート開発を進める企業の進出、信州しなのまち複業協同組合や地域おこし協力隊の受け入れの強化、また町役場職員の50％が町外から通勤している現状を踏まえると町内に賃貸住宅が足りません。住環境の整備が必要と考えますがいかがですか。

町長　本当にまったなしで解決しなければならない課題だと思っております。

町の人口 2045 年には 4382 人と予測

佐藤（さとう） 博一（ひろかず） 議員
カナダ視察の効果は
町長　通年型観光地の必要性

観光政策・海外視察について

質問　カナダ視察の効果をどのように描きましたか。

町長　カナダのウィスラーは国際的なマウンテンリゾートで、標高670メートルの人口1万3500人の小さな町ですが、年間200万人以上の来訪との事。関係する皆さんが世界的リゾートの現状認識を共有し、広域的な視点からの観光のあり方を関係者間で情報共有する貴重な機会と感じたところです。

質問　本来なら職員を帯同し、情報共有をする上で、一人よりも効果があると思われますので考えて頂きたい。産業観光課では、経費を事前に把握してましたか。

産業観光課長　把握せず、二市を参考にしました。

質問　当町の課題をどう分析し、広域連携をイメージしましたか。

町長　当町は美しい景観、豊かな自然環境など魅力溢れるコンテンツを十分活かしきれていない点、広域連携が不十分、歴史や文化を含めた地域雇用のストーリーが描けてないのではないかという課題。ウィスラーは歴史が60年と浅い中でも、冬よりも夏の入り込み客増、通年型観光地として、受け入れ体制の整備、各種店舗が調和を乱すことが無い。

野尻湖を含むエリア観光として、通年型を目指す事は重要だと考えます。歴史や文化を含めた多様な観光素材を自由自在に組み合わせ、住民がホストとしてストーリーを語る事も必要ではないかと感じました。

© Tourism Whistler

伊藤（いとう） 博美（ひろみ） 議員
有機農業の取り組みの現状は
町長　バランスの取れた農業振興を目指します

有機農業

質問　取り組みの現状は。

町長　栽培技術の導入、販路の拡大について検討を始めました。一方で、資材調達、作業負担の増加、収益性の確保の課題が明らかになりました。

観光農業とのバランスの取れた農業振興を目指すべきと感じています。

質問　有機栽培された食材を学校給食に利用する考えはありますか。

教育長　単価や供給が整えば最優先での利用も視野に入れて検討したいと考えます。その際、調理方法や調理体制も含めて検討する必要があると思います。

質問　安全で栄養価の高い給食を提供することは子どもの成長発達を保障するものだと思います。教育長の見解は。

教育長　子どもたちの健やかな成長のための大切な権利だと思います。

同時に地域の農産物や食文化を学ぶ教育的役割もあります。

質問　物価高の中で給食の質の低下はありませんか。

教育長　極力栄養価のあるものを取りそろえています。旬の食材は旬のころに、地産地消で輸送費もかからないように、現場の栄養士、職員が努力して影響が出ないように努めています。

質問　国が無償化の予算措置をすれば受け入れますか。

町長　受け入れに向けて対応します。

有機野菜を給食に

片野（かたの） 良之（よしゆき） 議員
カーボンニュートラルへの取組は
町長　環境施策を推進

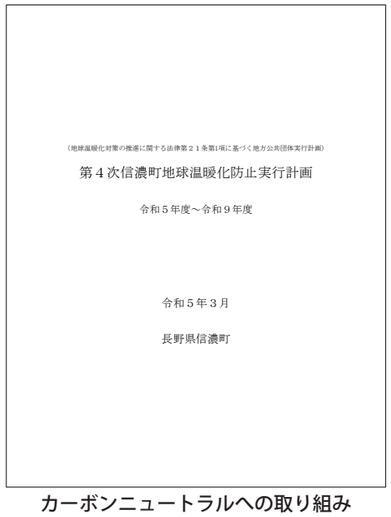
質問　第3・4次のカーボンニュートラルへの取組では、改善された概算での数値を伺いたい。

町長　この計画では、地球温暖化防止計画も一体的に組み込んでおり、ゼロカーボンへの取り組みの強化、削減目標の設定、環境施策を総合的かつ効率的にする事、としました。

総務課長　公用車の更新にあたっては、環境に配慮した車種選定を予算の範囲内で実施していきます。役場全体のガソリン使用量は平成26年からコロナ禍前、平成30年までの5年間の平均使用量は、2万5358リットルで、令和6年度には2万2610リットルと約2700リットル削減になっています。

質問　昨年もゼロカーボンの件で質問した際に、町民や民間への協力要請も必要ではないかと提案しています。その後、どのように進んでいますか。

住民福祉課長　昨年ご指摘いただいたとおり、町民の皆様のご協力が必要であると再認識しています。町では昨年度、信濃町第3次環境基本計画を策定し、本年度から新たにスタートしました。この計画は、これまでの事務事業編に加え、町全体での取り組みを示す区域施策編を組み込み、行政だけでなく住民の皆様や事業者の皆様と一緒に進めていくことを前提に策定しました。



カーボンニュートラルへの取り組み

（地球温暖化対策の推進に関する法律第21条第1項に基づく地方公共団体実行計画）
第4次信濃町地球温暖化防止実行計画
令和5年度～令和9年度
令和5年3月
長野県信濃町

峯村（みねむら） 崇（たかし） 議員
信濃町の観光にはDMOが必要
町長　検討していかなければならない

質問　信濃町の観光を次の段階へ進めるためには、DMOへ権限と予算を集中することが不可欠かと思いますが、町の見解を伺います。

町長　現在の組織体制を見直さなければならないという声があります。DMOが必要だということは以前から伺っており、検討しないといけません。現在の体制を整理して総合的に判断したいと思います。

質問　オーバーツーリズム対策や、町のキャリングキャパシティについて町としてどのような考えを持っているのか伺います。

町長　信濃町のベッド数は、現在3000床まで減ってきています。そういった宿泊施設の稼働率を考慮し、受け入れられるキャパを調べてからプロモーションをかけていくことが望ましいのではないかと考えています。

＊その他「野尻湖の安全管理について」、「東北電力水門横の長野県有地の利用について」、「野尻湖入口に観光案内所や国立公園ミニビジターセンターの設立について」、「ライドシェアサービスUber導入について」などを質問しました。

早朝の野尻湖を愛犬と

湊（みなと） 喜一（きいち）議員

発災時避難所の通信確保を衛星通信で

町長　防災無線、消防無線を軸に対応しています

質問　能登半島地震では、地中光ケーブル断裂、電柱の倒壊等で通信基地局の機能が失われ情報の途絶が発生しました。通信の復旧に貢献したのは、衛星通信です。指定避難所に衛星通信端末の配備と通信復旧支援チームの整備を検討すべきです。

町長　携帯・固定電話の連絡手段が断たれ、集落が孤立する恐れは認識しています。現状は、防災無線・消防無線を軸に対応しています。

総務課長　次世代の衛星通信導入は未検討ですが、国県の補助金の利用も併せて今後検討していきます。

RSウイルスワクチン任意接種に助成を

質問　RSウイルス感染症は、乳児及び基礎疾患をお持ちの高齢者が感染すると重篤な肺炎になり死亡率も高く、ワクチン接種が有効です。

RSウイルス感染症の予防は大事

住民福祉課長　令和5年に薬事承認された新しいワクチンです。妊婦、60歳以上の高齢者には、任意接種となっていますが、助成している自治体は少ない状況です。現時点でのワクチン接種助成は行わない方針ですが、RSウイルスの、感染リスクや予防対策は周知してまいります。

（一般質問の記事と写真は、質問者本人が作成しています。）

永原（ながはら） 和男（かずお）議員

A薬局への駐車場使用料は

新病院整備室長　年間4万4520円です

質問　国保と後期高齢者医療保険の有効期限が、本年7月末に切れました。

　しかし、新しい保険証が交付されていません。

町長　令和6年12月2日から、紙ベースの被保険者証の交付は終了になっています。後期高齢者につきましては、マイナ保険証の保有状況にかかわらず、資格確認書を全員に交付し、令和8年8月まで暫定運用を行います。国保の被保険者には、マイナ保険証への移行に一定の期間を設ける必要はないとの判断のもとで、後期高齢者とは異なる対応となっています。

質問　後期高齢者が、有効期限が切れている保険証で受診することは可能ですか。

住民福祉課長　厚労省の通達により、有効です。

行政財産について

質問　旧富士里小学校の校庭をS社に貸し付けていると思うが。

教育次長　申請者は長野県です。S社は県が行う工事請負契約を締結した施工業者になります。

質問　使用料は発生していますか。

教育次長　使用料は発生しておりません。

質問　A薬局への病院駐車場の貸付面積は。

新病院整備室長　100平方メートルです。

質問　使用料は。

新病院整備室長　年間4万4520円です。

質問　町財産に関する条例に、課題があるとはお考えになりませんか。

町長　特に問題はないと考えています。

県に貸し付けている旧富士里小校庭

佐藤（さとう） 武雄（たけお）議員

野尻湖の桟橋、現在の状況は

町長　設置及び管理に関する条例で整理

質問　野尻湖の町有桟橋、許可桟橋、その他の桟橋の町で把握している現在の状況は。

町長　町有桟橋が6箇所、民間の桟橋は県の調査で古いデータですが、河川法、自然公園法の許可を得ている桟橋が72、それ以外が260ほどあります。

質問　260は大変多いわけですが、皆さん生業を営み生計を立てています、環境保全など町長の考え思いを伺います。

町長　様々な悪影響を及ぼすことが指摘されています。許可を得ている桟橋でも適切に管理されていないケースも見受けられます。機能を確認し、統合整理できればとの期待も希望もあります。

質問　許可桟橋以外の桟橋の皆さんは、生業や生活を維持している部分もあります、すべて把握し、例えば1種、2種、3種などの基準を設けて、3から5年に1度位更新するような取り組みを環境省、県等と協議してはどうですか。

町有第三桟橋

町長　平成10年に野尻湖検討委員会より提言をいただいております。桟橋を整理統合し公共施設、共同利用、桟橋とする長期的な方向性が示されました、現在の状況を勘案し、新たな対策を講じることが急務であると感じます。環境省、県との協議調整を進めて参りたいと思います。

※他に附属機関設置について、スポーツ合宿誘致事業について質問しました。

特別豪雪地帯における支援の拡充（通称：特豪要望）

信濃町をはじめとする長野県北部の10市町村（信濃町・長野市・飯山市・山ノ内町・栄村・野沢温泉村・木島平村・高山村・白馬村・小谷村）は、毎年、県に対して暮らし向き向上について要望事項を提出しています。今年度は飯山市で会議があり、酒井聡議長、北村富貴夫副議長が出席しました。

大雪でフル稼働する除雪機

要望事項

住宅除雪支援事業における「玄関先除雪」について、屋根の雪下ろしを伴わない玄関先から生活道路までの除排雪を補助対象としております。現状では、除雪支援員が自宅から軽トラックに除雪機を積載し、現場へ運搬した上で除雪作業に従事しており、この一連の作業において、物価及び燃料価格の高騰が除雪支援員にとって著しい負担となっている状況を考慮し、補助金の限度額を増額するよう要望します。また、克雪住宅普及促進事業補助金についても、昨今の物価高騰に対応できる金額となるよう、補助金の増額を要望します。

訂正のお知らせ

前号（令和7年7月31日付）の佐藤武雄議員の一般質問の上段7行目「準備」となっていますが、正しくは「整備」でした。お詫びして訂正いたします。

全員協議会から

8月

議会申し合せ事項の変更

この4月より始まりました第19代議会は、当初第18代議会申し合せ事項に準じてスタートしました。新たに加わった議員を含め、第19代議会を構成するなかで、第19代議会としての申し合せ事項を協議・検討し、幾つかの変更・改正を行いました。

議会基本条例を基に、本会議では一問一答の形式を取っていることの確認や、議員は町の諮問機関や付属機関、それから審議会・委員会などには原則、参加しないことを確認しました。

9月

①環境と地域づくりを統合する国際潮流

地方創生×ネイチャーポジティブの推進に向けたモデル支援事業について、ネイチャーポジティブの定義は、生物多様性の損失を止め、自然を回復させること。2030年までに損失ゼロとし、2050年までに回復を目指すというものです。

近年、脱炭素、カーボンニュートラルや生物多様性の回復、ネイチャーポジティブ、環境経済の実現、サーキュラーエコノミー等の環境課題を統合的に回復する取り組みが国際潮流になっており、特にネイチャーポジティブに関しては国際目標が設定された上で、2023年には生物多様性国家戦略2023~2030が閣議決定され、民間事業者においても取り組みが活発化しています。

②信濃町保育環境あり方検討委員会の経過について

保育環境あり方検討委員会は、令和6年3月に設置され、現在までに9回の検討委員会を重ねてきました。来年の令和8年2月末までには検討委員会から提言をいただくスケジュールの下、現在進んでいます。

園の状況として、建築後古間で32年、柏原で40年、野尻・富士里については50年以上が経過しています。有形固定資産の減価償却率では、類似団体の中で77番目と大きく老朽化が進んでいます。

第8回までを踏まえ、経過をまとめはじめました。保育環境の現状認識と課題として、保育士不足・待機児童問題、少子化による少人数の保護学級が有ること。園舎の老朽化問題がみえてきています。

委員会活動あれこれ

総務産業常任委員会所管事務調査報告

7月3日（木）に、信濃町堆肥センターの現状と将来展望、課題について総務産業常任委員会では調査しました。

今回の視察では、堆肥センターの説明を受ける中で、施設の老朽化が最も深刻な課題であると感じました。

10月末には、木島平村へ視察予定です。

社会文教常任委員会所管事務調査報告

8月26日（火）に、住民福祉課長・環境係長と共に町内におけるヤード設置箇所の視察・状況調査を行いました。

公用車にて5か所の調査を行い、内1か所は休止状態でした。他の施設おいては従前と比べ大変整理が進んでいることを確認しました。

今後、町内にヤードがこれ以上増えることが心配されます。

議会広報調査特別委員会視察

7月15日（火）午前に、議会報の印刷を委託しているながのコロニー（長野福祉工場）へ視察を行いました。

コロナ禍で視察ができないまま、久しぶりの視察となりました。

今後、予算を組んでカラー印刷について検討をしていきたいと考えています。

ながのコロニーの自動折り機

富が原の堆肥センター

ぎかい活動365日

7月から9月までの主なもの

町立信越病院 移転竣工式 8/17

町立信越病院の移転竣工式でのテープカット風景。この後、院内の説明を受けながら視察を行いました。

森林・林業・林産業活性化促進議員連盟 長野県連絡会議 第30回総会・研修会 8/20

岡谷市で行われた森林・林業・林産業活性化促進議員連盟長野県連絡会議　第30回総会・研修会に参加しました。

町村議会 広報研修会 8/28

東京渋谷公会堂で行われた町村議会広報研修会に参加し、全国から集まった議会報担当者がレクチャーを受けました。

ハラスメント講習会 9/22

役場会議室において議員全員参加でハラスメント講習会を行いました。議場内だけでなく、委員会審査や議員同士の会話、町職員・住民の方々との会話などで、口調や言い回しで意図とは違った伝わり方になる場合も有り、最大限の注意が必要。何気なく使う言葉に含まれる危険性に、意識はなくとも相手に対して嫌な気持ちにさせない様に気をつけなければと再認識し、確認し合いました。

こんにちは わたしの出番（でばん）です

Uターンして見つけた日常に感謝する木田しのぶさんと
都会にはない信濃町の良さに感動している中條寛太楼さんの登場です。

Uターンして見つけた日常

野尻　木田しのぶさん

信濃町で就農して4度目の秋を迎えます。

２０２２年の冬に夫とふたり信濃町へUターンし、その春から農業を始めました。

西洋野菜を育てようと決めて、まずはやってみようと試行錯誤と挑戦を重ね、とうもろこしやケールなどの西洋野菜、夏野菜を直売所に出荷し、順調に出荷量も増えてきました。

地域の皆さんの温かい言葉や直売所、農家の先輩方の励ましと助言に支えられ、感謝の毎日です。

長く町外で暮らし、就農前はシンガポールに10年、ほぼ季節の変化がなく常夏の環境に住んでいたので、朝の収穫のたびに黒姫山や妙高山の美しさ、季節の移ろいに改めてふるさとの豊かさを感じます。

これからも学びながら地域に根ざした農業を続けていきたいです。

都会にはないものが信濃町にはある

柏原　中條寛太楼さん

生まれ育った東京から、信濃町へ引越しをして早十年、すっかり根を張り、のびのびした生活を過ごしております。

私にとって信濃町に住むことは、人生を豊かにするに十分すぎる程の環境と刺激に満ち溢れています。

四季によって景色を一変させる自然、その恩恵を受ける作物等々、それらの寵愛を受け、心豊かに育つ信濃町の方々。どれもが、この町に住む私の自慢です。

自然に近い環境で生活をすることは苦労もあります。ですが私はその苦労も含めて、ここで楽しく生きてゆきたいのです。

その楽しさ、そして豊かさを、多くの人と共有していきながら、日々支えてくださる多くの方々への感謝を形にして行きたいと考えています。

編集後記

暑い暑いと言っていた夏が過ぎ、秋をすっ飛ばして厳しい冬を迎えようとしています。

秋の夜長を味わえないまま冬を迎えることに、若干の寂しさを感じる今日この頃です。

さて、今号はいかがだったでしょうか。これからもわかりやすい記事を作っていきたいので、皆様のご意見・ご感想・ご要望をお寄せください。（片）

～議会広報調査特別委員会～

委員長　北村　富貴夫　　副委員長　片野　良之
委員　　湊　喜一　　小川　敬史　　岡本　かおり　　峯村　崇

Fax 026-255-3081　E-mail:gikai@town.shinano.lg.jp

＊12月議会は12月3日～の予定です。是非、傍聴へ！

表紙の写真

信濃町の特産である古間鎌は、約４５０年前に川中島合戦に従軍した刀鍛冶がその技術を伝えたと言われています。冬の間の副業として発達しましたが、残念なことに、農具の機械化や、安い大量生産の鎌の流入によって、衰退の一途をたどってきました。半世紀以上新しい弟子が入っていなかったのですが、60年ぶりに19歳の新弟子が信濃町の地域おこし協力隊として入ってきました。

この日、制作していたのは、中厚鎌の刃です。（岡）